

## 耐災害 ICT 研究活動 (2014 年)

### <招待論文、寄書、等>

1. 安達文幸, “災害時に直ちに通信機能を復旧させる重層的通信ネットワークとその将来展望,” 電波技術協会報 FORN, No.300, 2014 年 9 月.
2. 安達文幸, “3 年前の大震災から学んだこと,” (巻頭言) 電子情報通信学会誌, 2014 年 7 月.
3. K. Iwatsuki, “Wireless and Wired Convergence toward Next Generation Access Networks”, SPIE Photonics West 2014, San Francisco, vol.9007, p.900705-1, 2014
4. 末松 憲治, 携帯電話回線と衛星回線を簡単に切り替えられるマルチモード VSAT ～災害時に有効な衛星通信ネットワークの実証実験 ～, 電波技術協会報 FORN, No.300, 2014 年 9 月
5. 鈴木陽一, 東北情報通信懇談会の会報誌, Mercato 88 号 2014 WINTER
6. 鈴木陽一: “屋外拡声装置による災害情報伝達の高度化を目指して,” 全竹中開発改善大会, 2014.10.
7. 乾健太郎. 言葉が分かるコンピューターを作る. 河北新報「科学の泉」, December 2014.
8. 乾健太郎. ネットにあふれる健康・医療情報の信頼性をどう担保するか? ～自然言語処理からの情報科学的アプローチ～. 仙台医師会報, 2014 年 4 月号, April 2014.
9. 乾健太郎. ビッグデータから知をつむぐ自然言語処理. 翠巒, 第 28 号, March 2014.
10. Tetsuo Kinoshita, Hideyuki Takahashi, Kazuto Sasai, Gen Kitagata, "User-Oriented Information Delivery System Using Active Information Resources," Advanced and Applied Convergence Letters AAAL03, pp.240-243, The Institute of Internet, Broadcasting and Communications (IIBC) , Nov. 2014.